

頻尿

大人では1日8回以上の排尿を認める場合を頻尿と呼びます。しかし、小児の場合は腎臓での尿を濃くする働きが未熟であり、尿をためる膀胱の大きさも小さいことなどから、排尿回数は大人より多いのが普通です。

尿の回数が通常より増えた場合には様々な理由が考えられます。

尿をたくさん作っている場合、水分をたくさん摂取した後は正常な反応ですが、腎臓の機能が低下している、糖尿病や尿崩症などの病気が隠れている可能性もあります。尿をためる膀胱に異常がある場合、食べ物や薬などの影響も考えられますが、尿路感染症などの病気が隠れている可能性もあります。また、尿を出すときには、神経と膀胱とで情報をやりとりして調節を行っています。この情報のやりとりが上手くいかないときにも、頻尿になる場合があります。オムツを見る度、いつも尿が出ている場合には、膀胱の中の尿が溢れ出ている場合や、尿の出口が正常とは異なる可能性も考えられるため注意が必要です。

原因を調べるために、尿検査、血液検査、画像検査などの検査が必要となる場合もあります。かかりつけの先生に相談してみましょう。